

学校の沿革

年月	事項	
昭和40年(1965)9月	日本クラブの主導で「日本語会」が発足する。(会員制で、CONVENT OF OUR LADY OF SION に教室を設け、20名の子供と4名の講師で日本語の学習が開始される。)	
昭和41年(1966)4月	日本語学習の希望が強く、児童生徒数が80名に増加し、講師も5名となり、日本の学年に合わせて新学年を開始する。	
昭和42年(1967)4月	在留邦人家庭の要望に応じて門戸を開き、日本クラブ会員以外の子弟の入学希望者を受け入れる。(児童生徒数97名、講師数5名)	
昭和43年(1968)4月	児童生徒の増加に対応するため、小学部高学年と中学部とを、大使館広報部に移す。(児童生徒数120名、講師数6名)	
昭和44年(1969)4月	現地の私立校ハンブシャースクールの校舎を借用し、小学部低学年・中学部を移転する。(児童生徒数160名、講師数8名)	
昭和45~46年(1970~1971)	各方面からの視察が多くなる。(児童生徒数200名、講師数9名) 教育相談巡回班来校、指導を受ける。 (児童生徒数270名、講師数10名)	
昭和47年(1972)4月	児童生徒の増加に伴い施設設備が間に合わず、午前と午後とで二部授業を始める。(児童生徒数270名、講師数10名)	
昭和48年(1973)4月	初めて事務局が設置される(銀行の一室)。(児童生徒数350名、講師数10名) 入学希望者のすべてを受け入れることができず、ウェイティングリストを作る。	
昭和49年(1974)4月	ウェイティング解消のため、第3教場としてジャパン・トレイド・センターの地下室を借用する。再び、ウェイティングリストができる。(児童生徒数470名、講師数12名) 日本から初めて教師が派遣される。(校長格-小鴨述夫)	
昭和50年(1975)1月	日本クラブのソーシャルコミッティー委員長の下に学校運営委員会が結成され、事務局を独立の事務所に移転する。(児童生徒数490名、講師数15名)	
4月	ハンブシャースクールとジャパン・トレイド・センターを返し、アメリカンスクールを借用し移転する。(児童生徒数520名、講師数24名)	
6月	日本クラブが全日制校の設置を決議する。	
年月	事項	運営関連その他
昭和52年(1976)2月	日本政府から補助金給付の決定通知を受ける。日本人学校設立委員会が設置される。	理事長 松岡 照男(日本郵船)
4月	初代校長田中勝哉始め、5名の政府派遣教員が着任し、開校準備にあたる。	運営委員長 藤田 勝久(三菱銀行)
6月	有限会社日本人学校設立。(児童生徒数587名、講師数30名)	校長 田中 勝哉(鹿児島)
8月	カムデン校舎の購入が承認される。	教 頭 小鴨 述夫(啓明学園)
10月	全日制校と補習授業校を併設し、10月1日に開校。	事務長 川瀬 清
昭和52年(1977)4月	アメリカンスクール教場の半分を日本人学校の校舎に移転する。高等部のみ大使館広報部を使用する。	理事長 長村登志雄(東京銀行)
9月	海部文部大臣の来訪を受ける。(児童生徒数625名、講師数36名)	運営委員長 瀬戸口直道(第一勧業銀行)
昭和53年(1978)9月	イスラエル航空へのテロ事件で危険に遭遇し、高等部もアメリカンスクールに移る。	理事長 松岡 照男(日本郵船)
11月	砂田文部大臣の来訪を受ける。(児童生徒数684名、講師数36名)	運営委員長 江森 雄二(国際合同銀行)
		校長 藤沢 博(山口)
		教 頭 中津留義久(宮崎)
昭和54年(1979)4月	日本政府から2名の教師が派遣される。(児童生徒数753名、講師数38名)	理事長 有賀正五郎(三井物産)
		理事長 河相 真澄(三井物産)
		運営委員長 湯沢 一雄(東海銀行)
		事務長 嶋原 修次
		教 頭 大西 清(徳島)
昭和55年(1980)9月~10月	松浦文部省国際学術局長、藤本海外子女教育振興財団専務理事の来訪を受ける。 (児童生徒数851名、講師数41名)	理事長 田中正太郎(東京銀行)
		理事長 後藤 完自(東海銀行)
		運営委員長 末広 文次(日本興業銀行)
		運営委員長 副島 晃(日本興行銀行)
昭和56年(1981)		理事長 松岡 照男(日本郵船)
		理事長 守谷 兼義(日本郵船)
		運営委員長 平野 貞雄(富士銀行)
		運営委員長 金谷 邦男(富士銀行)
		校長 大石 重徳(長崎)
		教 頭 長 奏 武将(北海道)
昭和57年(1982)10月	児童生徒の増加傾向に鑑み、テムズ川の南にも校舎を増やすことが決定される。	理事長 高垣 佑(東京銀行)
		理事長 後藤 完自(東京銀行)
		運営委員長 相原 宣夫(三井銀行)
		事務局 嶋原 修次
		教 諭 野沢 紀子(東京学芸大学)
昭和58年(1983)4月	エルムウッド・ジュニアスクールを借用し、クロイドン校舎を新設する。 政府派遣教員が1名増員されて3名になり、カムデン、アメリカン、各校舎を担当する。 全児童生徒数が初めて千名を超え、1,218名となる。	理事長 大木 莊三(三井物産)
		運営委員長 小野 徳行(住友銀行)
		教 諭 楠原 正人(鹿児島)
昭和59年(1984)4月	クロイドン校舎に回復学級(基礎部の前身)を設置し、英語を第一言語とする児童の指導にあたる。	理事長 守谷 兼義(日本郵船)
		運営委員長 加納 潔隆(第一勧業銀行)
		校長 藤野 英洋(東京)
		教 頭 辻村 晋(北海道)
昭和60年(1985)4月	日本人学校校舎をカムデンからアクトンに移すことが決定される。 (児童生徒数1,308名)	理事長 大木 莊三(三井物産)
		運営委員長 小林 邦彦(三菱銀行)
		教 諭 横田 照彦(静岡)
昭和61年(1986)4月	「回復部」の名称を「基礎部」に変更する。(児童生徒数1,308名、講師数67名)	理事長 稲蔭 邦彦(東京銀行)
		理事長 高井 邦彦(東京銀行)
		運営委員長 谷本 健治(三和銀行)
		教 諭 石垣 浩昭(三重)
昭和62年(1987)4月	日本人学校校舎がアクトンに移転。 中学部、高等部、基礎部をアクトン校舎に統合し、アメリカン、クロイドン校舎は小学部のみとする。(児童生徒数1,448名、講師数69名)	理事長 菅原 明(日本郵船)
		運営委員長 山中 貞雄(東海銀行)
		校長 三上 誠一(神奈川)
		教 頭 佐藤 勝江(岩手大学)
昭和63年(1988)10月	海外子女教育振興財団全国児童生徒作品コンクールで、学校賞・文部大臣奨励省を受賞する。(児童生徒数1,501名、講師数74名)	理事長 高井 邦彦(東京銀行)
		運営委員長 清水 邦夫(日本興業銀行)
		教 諭 石本 典秀(埼玉)

年 月	事 項	運 営 関 連 そ の 他
平成元年 (1989)	(アクトン校舎 41 学級、アメリカン校舎 16 学級、クロイドン校舎 14 学級)	理 事 長 熊谷 直彦 (三井物産) 運 営 委 員 長 横堀 尚昭 (富士銀行) 校 長 清水 隆雄 (埼玉) 事 務 局 長 有松 誠二 教 諭 柏 隆 (東京)
平成 2 年 7 月 (1990) 9 月	補習授業校教育全体計画を策定し、補習校教育の基本方針を定める。 アメリカン校舎を返し、カムデンのハバーストック・ハイスクールに移転して「カムデン校舎」と呼称する。(児童生徒数 1,741 名、講師数 78 名)	理 事 長 菅原 明 (日本郵船) 運 営 委 員 長 阿藤 達雄 (太陽神戸三井銀行) 教 頭 成石 壽之 (岡山)
平成 3 年 1 月 (1991) 6 月 9 月 11 月	各校舎に養護担当の副担任が置かれる。 カムデン校舎に中学部を新設することを決定し、先ず第 1 学年を開設する。 鈴木勲日本育英会理事長 (元文化庁長官) 一行の来訪を受ける。 クロイドン校舎は、クロイドン・ハイスクールに移る。 遠山敦子文部省教育助成局長の来訪を受ける。(児童生徒数 1,821 名、講師数 82 名)	理 事 長 成瀬 知則 (東京銀行) 運 営 委 員 長 小井戸雅彦 (住友銀行) 教 諭 高木 広明 (島根)
平成 4 年 4 月 (1992) 7 月	クロイドン校舎に中学部を新設することを決定し、先ず第 1 学年を開設する。 児童生徒のアクトン校舎への集中解消策の一貫として、新入生から通学区の指定を行う。 (児童生徒数 1,804 名、講師数 82 名) 日本政府派遣教員の増員があり、都合 4 名となる。 英国地区現地採用講師研修会 (外務省・文部省主催) を開催する。	理 事 長 鈴木 倅一 (日本郵船) 運 営 委 員 長 宇野 節生 (三菱銀行) 校 長 塚本 吉紀 (東京) 教 諭 深沢 直樹 (東京) 教 諭 鈴木 史良 (静岡)
平成 5 年 4 月 (1993) 7 月 9 月 12 月 2 月	日本政府派遣教員の増員が 1 名あり、都合 5 名となる。 校舎改築 (図書館・校長室新設等) 測量はじまる。按針会日英親善夏祭り参加。 英国地区現地採用講師研修会に 2 名出席。(於エジンバラ)。 在外教育施設教員に対する日本国内研修会に 1 名初参加。 (児童生徒数 1,780 名、講師数 81 名) 海外子女教育課大橋課長の来訪を受ける。 校長室完成される。 カムデン校舎でオープンスクールを開催。現地校 15 校教員 18 名参加。	理 事 長 福室 修 (三井物産) 運 営 委 員 長 室町 鐘緒 (三和銀行) 教 頭 木許 肇 (大分) 教 諭 井内 孝明 (徳島)
平成 6 年 4 月 (1994) 9 月 10 月 10・1・2 月	専任校長派遣される。日本政府派遣教員、校長を含めて 2 名増員 (総計 7 名)。 児童生徒数 1,705 名、72 学級、講師数 78 名体制で新学期始まる。 体育館新築完成。 与謝野馨文部大臣来校。 3 校舎オープンスクールを開催。現地校、国際学校と交流を深める。	理 事 長 倉地 正 (東京銀行) 運 営 委 員 長 宮崎 良雄 (東海銀行) 補 習 校 初 代 校 長 宮之脇幸男 (鹿児島) * 専任 教 諭 伊田 義信 (兵庫) 教 諭 佐藤 雅彦 (大分大学)
平成 7 年 4 月 (1995) 6 月	児童生徒数 1,612 名、派遣教員 7 名、講師 75 名 (69 学級) で 22 日新学期始業。 パソコン通信ネットワーク帰国教育相談活用開始。現地校調査。 カムデン校舎、クロイドン校舎教室外授業で初めて全校運動会開催。	理 事 長 鈴木 倅一 (日本郵船) 運 営 委 員 長 竹中 治彦 (日本興業銀行) 教 諭 藍沢 昌良 (東京学芸大学) 教 諭 岩田 正伸 (長野)
平成 8 年 4 月 (1996) 6 月	児童生徒数 1,556 名、派遣教員 6 名、講師 76 名 (70 学級) でスタート。 教室外授業実施。	理 事 長 福室 修 (三井物産) 運 営 委 員 長 村井 隆次 (第一勧業銀行) 教 諭 山口 茂 (東京)
平成 9 年 4 月 (1997) 5 月 6 月 7 月	児童生徒数 1,521 名、派遣教員 5 名、講師 76 名 (70 学級) で新学期が始まる。(児童生徒生活実態調査実施) 学級懇談会実施。 教室外授業実施。 英国地区現地採用講師研修会実施。	理 事 長 塩谷 憲司 (東京三菱銀行) 運 営 委 員 長 小原 之夫 (富士銀行) 事 務 局 長 長 隼人 第 2 代 校 長 白石 賢博 (大阪) 教 諭 東野 弘文 (兵庫)
平成 10 年 4 月 (1998) 5 月 6 月 7 月	児童生徒数 1,531 名、派遣教員 5 名、講師 76 名 (70 学級) で新学期が始まる。 現地校調査。文部省研究指定校となる。 ホームページ完成 : http://www.uk.so-net.com/london-hoshuko 学級懇談会実施 英国地区現地採用講師研修会実施	理 事 長 山口 嗣二 (日本郵船) 運 営 委 員 長 石井 潤平 (さくら銀行) 教 諭 高橋 勝 (埼玉) 教 諭 北村 健治 (静岡)
平成 11 年 4 月 (1999) 5 月	児童生徒数 1,453 名、派遣教員 5 名、講師 75 名 (69 学級) で新学期始まる。 学級懇談会実施	理 事 長 大貫 義昭 (三井物産) 運 営 委 員 長 佃 孝之 (住友銀行) 事 務 局 長 菅野 秀一 教 諭 今野 浩義 (北海道) 理 事 長 永田 宏 (三井物産)
平成 12 年 3 月 (2000) 4 月 7 月	文部省 在外教育施設研究指定 研究紀要 (中間報告) 豊かで確かな力を育む国語教室をめざして 児童生徒数 1,434 名、派遣教員 5 名、講師数 73 名 (67 学級) で新学期始まる。 英国地区現地採用講師研修会実施	理 事 長 山田 匡道 (東京三菱銀行) 運 営 委 員 長 三浦 喬 (三和銀行) 第 3 代 校 長 加藤 光昭 (愛知) 教 諭 越川 光雅 (千葉)
平成 13 年 3 月 (2001) 4 月	文部科学省 在外教育施設研究指定 研究紀要 (本発表) 豊かで確かな力を育む国語教室をめざして ~研修体制の基礎づくりに向けて~ 児童生徒数 1,406 名、派遣教員 5 名、講師数 74 名 (68 学級) で新学期始まる。	理 事 長 石田 忠正 (日本郵船) 運 営 委 員 長 鈴木 達郎 (東海銀行) 教 諭 田尻 博道 (熊本) 教 諭 大塚 敬昌 (茨城)
平成 14 年 4 月 (2002) 5 月 7 月 12 月	児童生徒数 1,352 名、派遣教員 4 名、講師数 74 名 (68 学級) で新学期始まる。 ホームページアドレス変更 : http://www.london-hoshuko.co.uk 自主研究発表 豊かで確かな力を育む国語教育をめざして補習授業校の実態に即した効果的な支援の在り方 英国地区現地採用講師研修会実施 基礎部を改称し日本語科とする。	理 事 長 木村 治雄 (東京三菱銀行) 運 営 委 員 長 濱 正孝 (みずほコーポレート銀行) 高等部・基礎部校長代行 菅野 秀一
平成 15 年 4 月 (2003) 5 月 7 月	児童生徒数 1,263 名、派遣教員 4 名、講師数 75 名 (69 学級) で新学期始まる。 校舎担当を改称し校舎長とする。カムデン校舎がフィンチリー校舎に移転 学級懇談会開始 英国地区現地採用講師研修会実施	理 事 長 莊 司 紀夫 (三井物産) 運 営 委 員 長 木本 泰行 (三井住友銀行) 第 4 代 校 長 富澤 敏彦 (東京学芸大学) 教 諭 宮邊 淳一 (福岡)
平成 16 年 4 月 (2004) 5 月 7 月 9 月	児童生徒数 1,287 名、派遣教員 3 名、講師数 76 名 (70 学級) で新学期始まる。 日本語科 1 学級増設 7 学級とする。 学級懇談会開始 英国地区現地採用講師研修会実施 ホームページアドレス変更 : http://www.thejapaneseschool.ltd.uk	理 事 長 佐藤 実 (日本郵船) 運 営 委 員 長 木下 和彦 (UFJ 銀行) 第 5 代 校 長 長山 正宏 (茨城) 教 諭 佐嶋 昭彦 (大阪) 教 諭 竹澤 秀樹 (愛知)

年月	事項	運営関連その他
平成17年4月 (2005) 9月	児童生徒数1,344名、派遣教員4名、講師数79名(73学級)で新学期始まる。 創立40周年記念 校章制定	理事長 柳澤 匡 (東京三菱銀行) 運営委員長 塚本 隆史 (みずほコーポレート銀行)
平成18年4月 (2006)	児童生徒数1,344名、派遣教員4名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。	理事長 遠藤 恭一 (三井物産) 河相 光彦 (三井物産) 運営委員長 東 俊太郎 (三井住友銀行) 溝口 潤 (三井住友銀行) 高等部・日本語科校長代行 亀井 誠 教 諭 清水 宣宏 (東京)
平成19年4月 (2007)	児童生徒数1,323名、派遣教員4名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。	理事長 佐藤 実 (日本郵船) 諸岡 正道 (日本郵船) 運営委員長 吉川 圭介 (JVC ヨーロッパリミテッド) 第6代校長 荒川 雄之 (千葉:平成19年1月教頭派遣) 教 諭 濱砂 万将 (鹿児島) 教 諭 田中 淳 (大阪)
平成20年4月 (2008) 12月	児童生徒数1,289名、派遣教員4名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 ホームページをリニューアルする。	理事長 守村 卓 (三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 石田 友豪 (野村證券) 教 諭 熊田 和則 (東京)
平成21年4月 (2009) 7月	児童生徒数1,285名、派遣教員4名、講師数73名(67学級)で新学期始まる。 財団法人海外子女教育振興財団 瀬谷博道会長・根道博専務理事の来訪を受ける。 英国地区現地採用講師研修会実施 (ロンドン補習授業校にて)	理事長 飯尾 紀直 (欧州三井物産) 運営委員長 有安 秀之 (日立ヨーロッパ) 第7代校長 西村 正寛 (千葉・シニア派遣)
平成22年4月 (2010)	児童生徒数1,280名、派遣教員4名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。	理事長 服部 浩 (日本郵船) 運営委員長 若生 信弥 (みずほコーポレート銀行) 教 諭 赤崎 雅也 (大阪) 教 諭 井村 直樹 (三重) 高等部・日本語科校長代行 菅野 秀一
平成23年4月 (2011) 2月	児童生徒数1,295名、派遣教員4名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 日本語科を1学級増設し、8学級とする。 文部科学省国際教育課中井課長の来訪を受ける。	理事長 守村 卓 (三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 香場 僚一 (キャノンヨーロッパリミテッド) 教 諭 山田 剛 (鹿児島県)
平成24年4月 (2012)	児童生徒数1,308名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。	理事長 坂本 憲昭 (欧州三井物産) 運営委員長 多田 正巳 (大和証券キャピタルマーケット) 後藤 正明 (大和証券キャピタルマーケット) 第8代校長 江口 俊昭 (神奈川・シニア派遣)
平成25年4月 (2013)	児童生徒数1,331名、派遣教員3名、講師数76名(70学級)で新学期始まる。	理事長 服部 浩 (日本郵船) 運営委員長 野波 俊輔 (東芝ヨーロッパ) 石川 純一 (東芝ヨーロッパ) 教 諭 佐藤 隆司 (北海道)
平成26年4月 (2014)	児童生徒数1,404名、派遣教員3名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。	理事長 中野 昌治 (三菱東京UFJ銀行) 宮地 正人 (三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 細見 健一 (三菱東京UFJ銀行) 教 頭 齋木 義一 (東京都)
平成27年4月 (2015)	児童生徒数1,297名、派遣教員3名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。 借用校舎変更により、フィンチリー校舎をプレント校舎に名称変更 「日本語会」発足より、50周年を迎える。	理事長 石川 博紳 (欧州三井物産) 運営委員長 飯塚 直樹 (NEC ヨーロッパ) 第9代校長 青木 時和 (愛媛県・シニア派遣)
平成28年4月 (2016)	児童生徒数1,284名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。	理事長 中井 拓志 (日本郵船) 運営委員長 篠原 実 (財団インターナショナル・ピエルシー) 教 諭 中野 喜久 (奈良県・シニア派遣)
平成29年4月 (2017)	児童生徒数1,261名、派遣教員2名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。 安部総理大臣夫人プレント校舎視察	理事長 桑原 昌宏 (三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 阿部 和雄 (日立ヨーロッパ) 事務局長 竹中 聡 事務局長 柏原 貴樹 教 頭 高橋 敬夫 (宮城県・シニア派遣)
平成30年4月 (2018)	児童生徒数1,291名、派遣教員3名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。	理事長 久米 敦司 (欧州三井物産) 藤谷 泰之 (欧州三井物産) 運営委員長 永峰 宏司 (株式会社みずほ銀行) 第10代校長 澤邊 正人 (大阪府・シニア派遣) 教 諭 栗和田建夫 (宮城県・シニア派遣)
平成31年4月 (2019)	児童生徒数1,257名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。	理事長 久保田圭二 (日本郵船) 運営委員長 石塚 雄一 (キャノンヨーロッパリミテッド) 事務局長 西原 勝克
令和2年4月 (2020) 7月	児童生徒数1,219名、派遣教員3名(1名は日本待機)、講師数80名(74学級) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1学期は休校となる。 待機派遣教員着任	理事長 佐崎 孝教 (三菱UFJ銀行) 運営委員長 石塚 雄一 (キャノンヨーロッパリミテッド) 柳沢 志向 (大和証券キャピタルマーケット) 教 諭 村田 健吾 (福岡県・シニア派遣)
令和3年4月 (2021)	児童生徒数1,143名、派遣教員3名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。	理事長 宮田 裕彦 (欧州三井物産) 運営委員長 中村敬一郎 (SMBCバンクインターナショナル) 第11代校長 中村 清忠 (東京都・シニア派遣) 教 頭 久保 康子 (大阪府・シニア派遣)
令和4年4月 (2022)	児童生徒数1,092名、派遣教員3名、講師数72名(66学級)で新学期始まる。	理事長 片山 祥徳 (欧州三菱商事) 高田 明彦 (欧州三菱商事) 運営委員長 青木 健男 (財団インターナショナル・ピエルシー) 本谷 大輔 (財団インターナショナル・ピエルシー) 事務局長 岡本 和男
令和5年4月 (2023)	児童生徒数1,140名、派遣教員3名、講師数73名(67学級)で新学期始まる。	理事長 佐崎 孝教 (三菱UFJ銀行) 運営委員長 西田 直敏 (日立ヨーロッパ) 高木 玲 (日立ヨーロッパ) 教 頭 手嶋 秀巨 (愛知県・シニア派遣) 教 諭 三村 喬士 (岡山県・シニア派遣)